



平成22年12月期 第1四半期決算短信

平成22年5月7日

上場会社名 コカ・コーラ セントラル ジャパン株式会社
 コード番号 2580 URL <http://www.cccj.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年5月14日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東 名

(氏名) 高橋 顕三
 (氏名) 杉田 豊

TEL 045-222-5851

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年12月期第1四半期の連結業績(平成22年1月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第1四半期	39,287	△5.3	△204	—	△191	—	△234	—
21年12月期第1四半期	41,488	—	△677	—	△852	—	△815	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年12月期第1四半期	△5.31	—
21年12月期第1四半期	△18.20	—

(注)22年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年12月期第1四半期	105,858	85,914	81.1	1,947.88
21年12月期	108,516	86,868	80.0	1,969.66

(参考) 自己資本 22年12月期第1四半期 85,886百万円 21年12月期 86,846百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年12月期	—	18.00	—	18.00	36.00
22年12月期	—	—	—	—	—
22年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

22年12月期(予想)については、現時点では未定であり、業績の状況等を総合的に勘案した上で決定させていただきます。

3. 平成22年12月期の連結業績予想(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	92,000	△0.1	600	—	700	—	100	—	2.27
連結累計期間	196,100	1.3	2,800	52.4	3,200	47.1	1,500	55.6	34.02

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
〔(注)詳細は4ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。〕
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|----------------------|--------------|-------------|--------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年12月期第1四半期 | 45,003,495株 | 21年12月期 | 45,003,495株 |
| ② 期末自己株式数 | 22年12月期第1四半期 | 911,028株 | 21年12月期 | 911,513株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年12月期第1四半期 | 44,092,650株 | 21年12月期第1四半期 | 44,816,164株 |

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、4ページ「定性的情報・財務諸表等3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、海外経済の改善や政府の緊急経済対策の効果などを背景に、企業収益、個人消費ともに持ち直しの動きが見られるなど、景気の穏やかな回復が見られる一方、依然としてデフレ傾向が続くなど、引き続き厳しい状況で推移いたしました。

清涼飲料業界におきましては、炭酸飲料が「ゼロ」系炭酸を中心に好調に推移したものの、スポーツ飲料や無糖茶で販売数量が大きく減少し、清涼飲料市場全体は前年を2%程度割込む結果となりました。

このような状況下、当社グループにおきましては「競合シェアの奪取」「市場価格の正常化」「中期経営計画の着実な実行」を3つの重点課題とし、全社員が一丸となって取り組んでおります。

また、販売面におきましては、重点ブランド「コカ・コーラ」「コカ・コーラゼロ」「ファンタ」「ジョージア」「爽健美茶」「アクエリアス」に加え、緑茶飲料の「綾鷹(あやたか)」ミネラルウォーター「い・ろ・は・す」を加えたビッグ6+2を中心に積極的な販売活動を展開いたしました。「コカ・コーラゼロ」においては、糖分ゼロ・保存料ゼロに加え、新たに“合成香料ゼロ”とし、ブランドの最大価値である“ゼロ”をより一層進化させ、前年に引き続き大きく販売数量を伸ばしました。「ジョージア」におきましては、大型新製品「ジョージアエメラルドマウンテンブレンド アドバンス」の発売により微糖缶コーヒー市場におけるシェア拡大を図るとともに、3月には社団法人日本野球機構(NPB)とパートナー契約を結び、様々なプロモーション活動を通して、飲用者のさらなる拡大を図ってまいります。「爽健美茶」におきましては、消費者の高まる環境意識に対応し、素材の一部を植物由来とした新ボトル「プラントボトル」を採用し、環境配慮型の製品にリニューアルいたしました。また、「い・ろ・は・す」におきましては、国内最軽量であり、飲用後簡単にしぼって潰すことができるPETボトル“ecoるボトル しぼる”を採用した製品特性が、身近なエコ商品として評価され、2010愛知環境賞、第19回地球環境大賞にて環境大臣賞を獲得するなど各方面より好評をいただいております。

しかしながら、個人消費の持ち直しはあるものの、低温・多雨等の天候不順、節約志向による買い控えなどの影響もあり、エリア内の販売数量は前年を下回る結果となりました。

当第1四半期連結会計期間の業績につきましては、売上高は前年同期比5.3%減の392億87百万円となりましたが、売上高の減少を補うべくコスト削減に努めたことにより、営業損失は2億4百万円(前年同期の営業損失は6億77百万円)、経常損失は1億91百万円(前年同期の経常損失は8億52百万円)、四半期純損失は2億34百万円(前年同期の四半期純損失は8億15百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、1,058億58百万円となり、前連結会計年度末に比べ26億58百万円減少しました。これは主として、受取手形及び売掛金や商品及び製品が減少したこと等によるものであります。

負債の部については、199億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億4百万円減少しました。これは主として、買掛金や未払法人税等が減少したこと等によるものであります。

純資産の部については、859億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億53百万円減少しました。これは主として、配当金の支払や四半期純損失があったこと等によるものであります。

(連結キャッシュ・フロー)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、54億円となり、前連結会計年度末に比べ5億78百万円減少しました。当第1四半期連結会計期間における活動ごとのキャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純損失△2億75百万円があったものの、減価償却費が23億33百万円あったこと等により、20億18百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として販売機器などの固定資産の取得があったこと等により、△14億36百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として配当金の支払があったこと等により、△11億59百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、依然清涼飲料全体の消費環境は楽観できず、デフレ傾向が続くなど、当社グループにとっても厳しい経営環境が続くものと予想されます。

こうした状況下におきましても、当社の持つブランド力のある商品とサービスを、その価値に見合う適正な価格で販売できるよう「市場価格の正常化」に注力し、売上と利益の拡大を図ってまいります。

なお、当第1四半期の業績は、前述の「1. 連結経営成績に関する定性的情報」に記載のとおり推移しておりますが、第2四半期連結累計期間および通期の連結業績見通しにつきましては、平成22年2月15日の決算短信発表時に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において算定した貸倒実績率等を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

② 棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し、前連結会計年度にかかる実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③ 繰延税金資産および繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しましては、前連結会計年度末以降の経営環境等、かつ一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,405	5,983
受取手形及び売掛金	12,110	13,958
商品及び製品	5,099	6,234
原材料及び貯蔵品	426	397
その他	12,236	10,888
貸倒引当金	△76	△84
流動資産合計	35,201	37,376
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,332	15,494
販売機器(純額)	14,550	14,259
土地	18,807	18,807
その他(純額)	8,736	9,114
有形固定資産合計	57,426	57,676
無形固定資産	1,471	1,538
投資その他の資産		
その他	12,026	12,204
貸倒引当金	△268	△279
投資その他の資産合計	11,758	11,924
固定資産合計	70,656	71,139
資産合計	105,858	108,516
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,360	3,088
未払法人税等	132	613
役員賞与引当金	—	50
その他	10,961	11,067
流動負債合計	13,455	14,820
固定負債		
退職給付引当金	2,460	2,497
役員退職慰労引当金	32	40
その他	3,994	4,289
固定負債合計	6,487	6,827
負債合計	19,943	21,647

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,499	6,499
資本剰余金	24,819	24,819
利益剰余金	55,687	56,715
自己株式	△1,231	△1,232
株主資本合計	85,775	86,802
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	111	43
評価・換算差額等合計	111	43
新株予約権	27	22
純資産合計	85,914	86,868
負債純資産合計	105,858	108,516

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年3月31日)
売上高	41,488	39,287
売上原価	25,802	24,201
売上総利益	15,685	15,086
販売費及び一般管理費	16,363	15,290
営業損失(△)	△677	△204
営業外収益		
受取利息	2	15
受取配当金	3	3
受取賃貸料	19	29
廃棄有価物売却益	11	16
雑収入	8	17
営業外収益合計	45	82
営業外費用		
支払利息	8	6
持分法による投資損失	189	37
株式費用	13	8
雑損失	8	17
営業外費用合計	220	69
経常損失(△)	△852	△191
特別利益		
固定資産売却益	0	0
貸倒引当金戻入額	35	7
その他	0	—
特別利益合計	35	8
特別損失		
固定資産除売却損	141	75
投資有価証券評価損	57	—
たな卸資産評価損	138	—
その他	7	16
特別損失合計	345	92
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,162	△275
法人税、住民税及び事業税	89	96
法人税等調整額	△436	△137
法人税等合計	△346	△41
四半期純損失(△)	△815	△234

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,162	△275
減価償却費	2,632	2,333
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△35	△19
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	20	△36
前払年金費用の増減額 (△は増加)	252	147
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△59	△50
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△204	△8
受取利息及び受取配当金	△6	△19
支払利息	8	6
持分法による投資損益 (△は益)	144	62
固定資産除売却損益 (△は益)	141	74
売上債権の増減額 (△は増加)	1,710	1,847
たな卸資産の増減額 (△は増加)	1,599	1,106
仕入債務の増減額 (△は減少)	△337	△727
その他の資産・負債の増減額	△1,886	△2,210
その他	△40	230
小計	2,775	2,462
利息及び配当金の受取額	54	106
利息の支払額	△8	△6
法人税等の支払額	△393	△544
その他の支出	△26	△1
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,401	2,018
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,288	△1,202
有形固定資産の売却による収入	0	12
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	0	—
貸付けによる支出	△311	△136
貸付金の回収による収入	15	26
その他	△238	△135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,823	△1,436
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,000	—
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	1,000	—
自己株式の取得による支出	△497	△0
配当金の支払額	△807	△793
その他	△444	△365
財務活動によるキャッシュ・フロー	250	△1,159
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,171	△578
現金及び現金同等物の期首残高	5,437	5,978
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,265	5,400

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

販売数量の状況 (平成22年1月1日～平成22年3月31日)

<パッケージ数量>

(単位：千函、%)

項目	前年同四半期 (自 平成21年 1月 1日 至 平成21年 3月31日)	当第1四半期 (自 平成22年 1月 1日 至 平成22年 3月31日)	増減率
リターナブルボトル	256	223	△12.9
ワンウェイボトル	12	12	0.0
～350ml	1,621	1,510	△6.8
～500ml	3,487	3,548	1.7
～1,000ml	221	179	△19.0
～1,500ml	1,493	1,378	△7.7
～2,000ml	2,378	2,221	△6.6
ペットボトル計	9,200	8,836	△4.0
～160ml	160	147	△8.1
～250ml	3,394	3,303	△2.7
～350ml	848	837	△1.3
～500ml	64	82	28.1
ボトル缶	238	193	△18.9
缶計	4,704	4,562	△3.0
ポストミックス	5,065	4,955	△2.2
シロップ	273	264	△3.3
パウダー	1,202	1,125	△6.4
カップ計	1,475	1,389	△5.8
その他パッケージ	1,606	1,542	△4.0
合計	22,318	21,519	△3.6

※食品は除く

<炭酸・非炭酸、主要ブランド別販売数量>

(単位：千函、%)

項目	前年同四半期 (自 平成21年 1月 1日 至 平成21年 3月31日)	当第1四半期 (自 平成22年 1月 1日 至 平成22年 3月31日)	増減率
コカ・コーラ	4,284	4,208	△1.8
(内訳) コカ・コーラ	3,373	3,219	△4.6
コカ・コーラゼロ	760	965	27.0
ノーカロリー他	151	24	△84.1
ファンタ	1,699	1,632	△3.9
カナダドライ	537	499	△7.1
スプライト	91	24	△73.6
リアルゴールド	250	268	7.2
その他	34	26	△23.5
炭酸飲料計	6,895	6,657	△3.5
ジョージア	4,804	4,830	0.5
アクエリアス	1,645	1,530	△7.0
爽健美茶	1,613	1,489	△7.7
はじめ/綾鷹	1,004	861	△14.2
煌	916	772	△15.7
Qoo/ハイシー	898	804	△10.5
紅茶花伝	986	872	△11.6
ミニッツメイド	934	867	△7.2
森の水だより/ミナクア	734	930	26.7
い・ろ・は・す	164	149	△9.1
からだ巡茶	164	149	△9.1
その他	1,725	1,758	1.9
非炭酸飲料計	15,423	14,862	△3.6
合計	22,318	21,519	△3.6